

2025年12月5日
株式会社日本政策金融公庫
総合研究所

開業者に占める女性比率の上昇と開業の小規模化が継続

～「2025年度新規開業実態調査」アンケート結果の概要～

日本政策金融公庫総合研究所は、新規開業企業の実態を把握するために、1991年度から毎年「新規開業実態調査」を実施しています。2025年度調査の結果について、時系列のデータを用いて開業者の属性や開業費用などの変化をみるとともに、開業者の特徴について分析しました。主な調査結果と調査の要領は以下のとおりです。

＜主な調査結果＞

1 女性の割合は過去最高を更新(本文3ページ)

開業者に占める女性の割合は25.7%と、調査開始以来の最高水準を4年連続で更新した(図-2)。

2 開業時の従業者数は減少傾向(本文8ページ)

開業時の平均従業者数は2.8人と、3年連続で3人を下回った(図-11)。

3 開業費用は少額化の傾向(本文9ページ)

開業費用の平均値は975万円で、長期的にみて少額化の傾向にある(図-13)。

4 7割以上が開業に「満足」(本文14ページ)

開業の総合的な満足度が「かなり満足」であった割合は31.8%、「やや満足」は43.1%と、74.8%が開業に「満足」している(図-25)。項目別では仕事のやりがい(自分の能力の発揮)で「満足」の割合が84.4%と特に高い。

*本調査の詳細につきましては、[こちら](#)をご覧ください

＜調査の要領＞・調査時点:2025年8月

・調査方法:調査票の送付・回収とともに郵送、アンケートは無記名・回答数:2,165社(回収率25.4%)

＜お問い合わせ先＞

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第一グループ TEL 03-3270-1687(担当:原澤、星田)

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町ファイナンシャルシティ ノースタワー